

平成 19 年度 容器包装 3 R 推進環境大臣賞 募集要領

環境省では、容器包装廃棄物の 3 R の推進に資する活動の奨励・普及を図るため、平成 18 年度に「容器包装 3 R 推進環境大臣賞」を創設しました。

この表彰制度は、改正容器包装リサイクル法の成立を踏まえ、事業者、N P O、市民団体及び地方公共団体等における容器包装廃棄物の 3 R の推進に資する活動の奨励・普及を図ることを目的にしたものです。

平成 19 年度の表彰候補団体につきまして、次のとおり公募いたしますので、多数の事業者、N P O、市民団体及び地方公共団体の皆様の御応募をお待ちしております。

環 境 省

平成 19 年度 容器包装 3 R 推進環境大臣賞 募集要領

1. 目的

本制度は、改正容器包装リサイクル法の施行を踏まえ、容器包装廃棄物の 3 R（発生抑制：Reduce、再使用：Reuse、再生利用：Recycle）の推進に資する優れた取組を行っている事業者、NPO、市民団体及び地方公共団体等に対して、環境大臣賞を授与することを通じて 3 R 推進の奨励を図るとともに、優れた取組を広く紹介することを通じて 3 R 推進の普及を図り、もって循環型社会の構築を推進することを目的とします。

2. 環境大臣賞の内容

本制度では、「地域の連携協働部門」、「小売店部門」及び「製品部門」の 3 部門を設け、部門ごとに、容器包装廃棄物の 3 R に関する「最優秀賞」（各 1 団体）「優秀賞」（各 1 団体）及び「奨励賞」（各 1 ～ 3 団体）を授与します。

3. 募集対象

循環型社会の形成に向け、容器包装廃棄物の 3 R に資する優れた製品を製造・利用している事業者、優れた取組を行っている小売業者及び地域社会で各種団体と連携協働して優れた取組を行っている市民団体、NPO、学校、地方公共団体などを対象として、前項に掲げる部門ごとに募集します。なお、募集対象は団体に限りますので、個人は募集対象となりません。

部 門	募集対象	応募資格
地域の連携協働部門 ● 最優秀賞（1 団体） ● 優秀賞（1 団体） ● 奨励賞（1 ～ 3 団体）	市民団体、NPO、学校、事業者、地方公共団体等の連携協働により、地域レベルでの容器包装廃棄物の 3 R 活動が実践され、その取組効果が顕著なもの	左記の取組を連携協働して行っている市民団体、NPO、学校、事業者、地方公共団体等の活動主体 応募者は原則として、連携協働した活動の中心的役割をしている団体の代表者とし、なお、連携協働した活動に参加する全ての団体が連名で応募を行うこともできます（押印必要）。
小売店部門 ● 最優秀賞（1 団体） ● 優秀賞（1 団体） ● 奨励賞（1 ～ 3 団体）	小売店舗において容器包装廃棄物の 3 R に関して優れた取組を行っており、その取組効果が顕著なもの	左記の取組を行っている小売業者 応募者は、小売店舗を経営している団体の代表者とし、応募の単位は、小売店舗ごととします。
製品部門 ● 最優秀賞（1 団体） ● 優秀賞（1 団体） ● 奨励賞（1 ～ 3 団体）	容器包装が廃棄物となった段階で 3 R の推進に資することに配慮した、画期的な製品設計・素材選択等を行い、その取組効果が顕著なもの	○ 左記の容器包装を製造した事業者（製造事業者） ○ 左記の容器包装を利用した商品の製造をしている事業者（利用事業者） 製造事業者と利用事業者が共同で容器包装の製造を行っている場合は、連名で応募することができます（押印必要）。

4. 応募資格

- (1) 応募は、応募団体からの申請によるものとします。
- (2) 都道府県や市町村、環境省地方環境事務所及び3R活動推進フォーラムが応募団体を推薦することもできます。

5. 応募方法

- (1) 応募者は、部門ごとの応募書(別紙1 - ~ 1 -)に必要事項を記入して、添付書類とともに、正副2部を下記の提出先(応募者のお住まい、所在地を担当する環境省地方環境事務所)まで持参されるか、郵送又は宅配便で送付してください。なお、電子メール、FAX による応募は受付しません。
- (2) 複数の部門に応募することも可能です。部門ごとに応募書へ記入して提出してください。
- (3) 申請書類は返却いたしませんので、あらかじめご了承ください。

6. 募集期間

平成 19 年 7 月 23 日(月) から 8 月 24 日(金) まで(消印有効とします)

7. 応募書類の提出先

担当地方環境事務所名	提出先
北海道地方環境事務所 (北海道)	〒060-0001 札幌市中央区北1条西10-1、ユーネットビル9F TEL 011-251-8702、FAX 011-219-7072
東北地方環境事務所 (青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県)	〒980-0014 仙台市青葉区本町3-2-23、仙台第二合同庁舎6F TEL 022-722-2871、FAX 022-722-2872
関東地方環境事務所 (茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、静岡県)	〒330-6018 さいたま市中央区新都心11-2 明治安田生命さいたま新都心ビル18F TEL 048-600-0814、FAX 048-600-0517
中部地方環境事務所 (富山県、石川県、福井県、長野県、岐阜県、愛知県、三重県)	〒460-0003 名古屋市中区錦3-4-6、桜通大津第一生命ビル4F TEL 052-955-2132、FAX 052-951-8889
近畿地方環境事務所 (滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県)	〒540-6591 大阪市中央区大手前1-7-31 大阪マーチャンダイズマートビル8F TEL 06-4792-0702、FAX 06-4790-2800
中国四国地方環境事務所 (鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県)	〒700-0984 岡山市桑田町18-28、明治安田生命岡山桑田町ビル4F TEL 086-223-1584、FAX 086-224-2081
高松事務所 (徳島県、香川県、愛媛県、高知県)	〒760-0023 高松市寿町2-1-1、高松第一生命ビル新館6F TEL 087-811-7240、FAX 087-822-6203
九州地方環境事務所 (福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県)	〒862-0913 熊本市尾ノ上1-6-22 TEL 096-214-0328、FAX 096-214-0354

8. 受賞者の決定方法

- (1) 学識経験者、3R推進マイスターなど外部委員から構成する審査委員会において、先進性、独自性、有効性、継続性、波及性など様々な面から総合的に審査して、受賞者を選考します。
- (2) なお、審査過程で、応募団体にプレゼンテーションをお願いする場合があります。

9. 環境大臣賞の授与式

平成 19 年秋頃に、環境大臣賞の授与式を開催する予定です。詳細が決まり次第、御案内いたします。

各部門の最優秀賞受賞者には、「容器包装 3 R 推進環境大臣賞標章」の使用権を付与します。

各部門の受賞者については、環境省のホームページで紹介させていただきます。

10. 問い合わせ先

環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部企画課リサイクル推進室 担当：橋本・安藤

〒100-8975 東京都千代田区霞が関 1-2-2

TEL:03-5501-3153(直通)、03-3581-3351(内線 6854)、FAX:03-3593-8262

電子メール：YOURIHOU@env.go.jp

<メールタイトル> 3 R 推進環境大臣賞の応募

応 募 書 (地域の連携協働部門)

平成 年 月 日

環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部 御中

(応募者名)

(代表者役職・氏名)

印

1. 取組事例の名称

--

2 - 1. 応募者連絡先

団 体 名		
住 所	(〒)	
担 当 者	ふりがな	
	氏 名	
	所 属 部 署	
	電 話	
	ファックス	
	E - mail	

2 - 2. 取組の連携実施団体・代表者名・連絡先(2-1 の代表応募者以外の団体名・代表者名を記入して下さい。枠が足りない場合は増やして記入して下さい。)

事業者名	代表者名	連絡先(電話)

3. 取組の区分[効果があるものに 印(複数選択可)]

- 1．容器包装廃棄物の発生抑制（リデュース）
- 2．容器包装廃棄物の再使用（リユース）
- 3．容器包装廃棄物の再生利用（リサイクル）

4．製品の概要等

取組の概要	<p>1 取組を始めた経緯、現在の取組の目標、取組内容、その効果等を記入してください。</p> <p>2 取組の内容、効果については、容器包装廃棄物の3Rの観点に留意して記入してください。 （例：本取組は、事業者、行政の協力の下、市民団体により行われており、 を内容としているが、特に容器包装廃棄物のリデュースに大きな成果を上げており、具体的には といった効果を上げている。等）</p> <p>3 複数の取組にまたがる場合には、それぞれ取組の内容、効果等を記入してください。 （例：本連携協働協議会では、A、B及びCの取組を行っており、Aの取組の内容は でありリユース対策として、Bの取組内容は でありリサイクルの促進の観点から、Cの取組は地域全体で進める環境教育の観点から、それぞれ 、 、 等の高い効果を上げている。等）</p>
類似表彰の受賞歴	<p>類似表彰の受賞歴をお持ちでしたら、その表彰名、受賞年度、受賞名を記入してください。</p>

5. 各側面でのアピールポイント

取組のアピールポイントを、以下の各側面からご記入ください。各項目の審査基準については、「別紙2 - 審査基準」をご参照ください。

先進性・独自性	地域における容器包装廃棄物の3Rに資する取組として、他では見られない先進的な連携の方法、独自の協力等があれば、ご記入ください。
有効性	<ol style="list-style-type: none"> 1 容器包装廃棄物の3Rに資する取組の有効性として、その効果を記入してください。特に、取組前と比較した容器包装の年間使用削減量や年間使用削減率等の定量的な効果を把握している場合にはその内容を記入してください。 2 さらに、この取組がCO2削減その他の環境保全上の効果が得られている場合には、定量的な効果も含め、その内容を簡潔に記入してください。
継続性	<ol style="list-style-type: none"> 1 取組の開始時期、活動年数など継続性が分かる内容を記入してください。 2 また、継続性を担保するため、定期的な評価・改善などを行っている場合は、その内容も記入してください。
波及性	<ol style="list-style-type: none"> 1 主体間の連携の強さがわかる根拠等を記入ください。 2 取組が波及効果を有している場合には、他の事業者や市民団体、地方公共団体へ波及した内容等を記入してください。特に、波及した主体の数やそれらの主体による容器包装の使用削減量など定量的な効果を把握している場合には、記入してください。
その他	上記の他、特筆すべき点、アピールすべき点があればご記入ください。

6. その他

本応募書以外に参考となる資料があれば添付して下さい。

- 例1:活動主体、取組内容・連携の様子等がわかる資料(パンフレット、広報誌、取組写真、説明資料等)
 例2:新聞・雑誌・地域情報誌等における報道記事等

容器包装3R推進環境大臣賞

応募書（小売店部門）

平成 年 月 日

環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部 御中

(応募者名)

(代表者役職・氏名)

印

1. 取組の名称

--

2. 取組店舗名

--

3. 応募者連絡先

	団 体 名	
	住 所	(〒)
担 当 者	ふりがな	
	氏 名	
	所属部署	
	電 話	
	ファックス	
	E-mail	

4. 取組の区分[効果があるものに 印(複数選択可)]

<p>1. 容器包装廃棄物の発生抑制（リデュース）</p> <p>2. 容器包装廃棄物の再使用（リユース）</p> <p>3. 容器包装廃棄物の再商品化（リサイクル）</p>

6. 各側面でのアピールポイント

取組のアピールポイントを、以下の各側面からご記入ください。各項目の審査基準については、「別紙 2 - 審査基準」をご参照ください。

先進性・独自性	小売店舗における容器包装廃棄物の 3 R に資する取組として、他では見られない先進的な内容、独自の取組等があれば、記入してください。
有効性	<ol style="list-style-type: none"> 1 容器包装廃棄物の 3 R に資する取組の有効性として、その効果を記入してください。特に、取組前と比較した容器包装の年間使用削減量や年間使用削減率等の定量的な効果を把握している場合にはその内容を記入してください。 2 さらに、この取組が CO2 削減その他の環境保全上の効果が得られている場合には、定量的な効果も含め、その内容を簡潔に記入してください。
継続性	<ol style="list-style-type: none"> 1 取組の開始時期、活動年数など継続性が分かる内容を記入してください。 2 また、継続性を担保するため、定期的な評価・改善などを行っている場合は、その内容も記入してください。
波及性	取組が他の事業者や市民団体、地方公共団体への波及効果を有している場合には、その具体的内容等を記入してください。特に、波及した主体の数やそれらの主体による容器包装の使用削減量など定量的な効果を把握している場合には、記入してください。
その他	上記の他、特筆すべき点、アピールすべき点があればご記入ください。

7. 添付資料

本応募書以外に参考となる資料があれば添付してください。

- （ 例 1：取組内容がわかる資料（消費者向けパンフレット、広報誌、店内写真、環境報告書、説明資料等）
例 2：新聞・雑誌・地域情報誌等における報道記事等 ）

容器包装3R推進環境大臣賞

応募書 (製品部門)

平成 年 月 日

環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部 御中

(応募者名)

(代表者役職・氏名)

印

1. 製品(容器包装・当該容器包装を用いた商品。以下同じ。)の名称

--

2 - 1. 応募者連絡先

団 体 名		
住 所		(〒)
担 当 者	ふりがな	
	氏 名	
	所属部署	
	電 話	
	ファックス	
	E-mail	

2 - 2. 共同製造事業者(製造事業者と利用事業者が共同で容器包装の製造を行っており、連名での応募を希望する場合は2-1の代表応募者以外の事業者名を記入)

事業者名	代表者名	連絡先(電話)

3. 取組の区分[効果があるものに 印(複数選択可)]

<ul style="list-style-type: none"> 1. 容器包装廃棄物の発生抑制(リデュース) 2. 容器包装廃棄物の再使用(リユース) 3. 容器包装廃棄物の再生利用(リサイクル)
--

4. 製品の概要等

製品の概要	<ol style="list-style-type: none">1 製品の製造等をはじめた経緯、現在の製品に関する目標、製品の特徴、その効果等を記入してください。2 製品の特徴と効果については、容器包装廃棄物の3Rの観点に留意して記入してください。 (例：本製品は、製造事業者との共同開発により実現した の点が特徴的な容器包装を用いた商品であり、既存製品の代替として流通量を と拡大しており、容器包装廃棄物のリデュース、リユース対策として、具体的には 、 といった効果を上げている。等)
類似表彰の受賞歴	類似表彰の受賞歴をお持ちでしたら、その表彰名、受賞年度、受賞名をご記入ください。

5. 各側面でのアピールポイント

取組のアピールポイントを、以下の各側面からご記入ください。各項目の審査基準については、「別紙2 - 審査基準」をご参照ください。

先進性・独自性	容器包装廃棄物の3Rに配慮した製品として、他の製品には見られない先進的な特徴や独自の機能等があれば、記入してください。						
有効性	<p>1 容器包装廃棄物の3Rに配慮した製品として、その効果を記入してください。特に、従来製品と比べた容器包装重量の削減量や削減率等の定量的な効果を把握されている場合は、その内容を記入してください。</p> <p>【3Rごとの有効性を測る指標の例】</p> <table border="1" data-bbox="416 734 1406 1066"> <tr> <td data-bbox="416 734 826 846">リデュース（軽量化・薄肉化、簡易包装化等）</td> <td data-bbox="826 734 1406 846">内容量当たり容器包装重量の削減量・削減率（従来製品と本製品の比較）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="416 846 826 958">リユース（詰め替え方式等）</td> <td data-bbox="826 846 1406 958">内容量当たり容器包装重量の削減量・削減率（本体と本製品の比較）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="416 958 826 1066">リサイクル（分別容易化等）</td> <td data-bbox="826 958 1406 1066">つぶし易さや洗い易さ・汚れの付着しにくさ等による分別排出コストの低減</td> </tr> </table> <p>2 さらに、本製品の製造・流通等においてCO₂削減その他の環境保全上の効果が得られている場合には、定量的な効果も含め、その内容を簡潔に記入してください。</p>	リデュース（軽量化・薄肉化、簡易包装化等）	内容量当たり容器包装重量の削減量・削減率（従来製品と本製品の比較）	リユース（詰め替え方式等）	内容量当たり容器包装重量の削減量・削減率（本体と本製品の比較）	リサイクル（分別容易化等）	つぶし易さや洗い易さ・汚れの付着しにくさ等による分別排出コストの低減
リデュース（軽量化・薄肉化、簡易包装化等）	内容量当たり容器包装重量の削減量・削減率（従来製品と本製品の比較）						
リユース（詰め替え方式等）	内容量当たり容器包装重量の削減量・削減率（本体と本製品の比較）						
リサイクル（分別容易化等）	つぶし易さや洗い易さ・汚れの付着しにくさ等による分別排出コストの低減						
経済性	本製品が従来製品に比較して、原材料費や光熱水費の低減等、コスト削減につながる点があれば、記入してください。特に、その効果を定量的に把握されている場合は、その内容を記入してください。						
普及性	本製品の従来製品に代替するものとしての消費者への普及拡大の状況とその効果を記入してください。特に、製品販売量や従来製品の代替による容器包装重量の総削減量など定量的な効果を把握している場合には、記入してください。						
その他	その他、特筆すべき点、アピールすべき点があればご記入ください。						

6. 添付資料

本応募書以外に参考となる資料があれば添付してください。

- （例1：製品がわかる資料（設計資料、消費者向け資料、製品写真、環境報告書、製品説明資料等）
例2：新聞・雑誌・地域情報誌等における報道記事等）

容器包装3R推進環境大臣賞(地域の連携協働部門)

以下の項目ごとに評価し、それぞれの項目での評価の合計が高いものを優れた取組として環境大臣賞の対象とします。

先進性 ・独自性	地域における容器包装廃棄物の3Rを推進する取組として、他では見られない各主体による内容の先進性や独自性があるといえるか。
有効性	容器包装廃棄物の3Rを推進する取組として、容器包装の使用削減やリターナブル容器の利用拡大、リサイクル率の向上など3R上の効果があるといえるか。 加えて、本取組がCO2削減その他の環境保全上の効果があるといえるか。
継続性	継続性がある取組といえるか。また、取組の評価・改善が適切に行われているか。
連携性 ・波及性	容器包装廃棄物の3Rを推進する取組として連携性が高いといえるか。また、他の消費者、NPO、事業者、地方公共団体等に広く影響を与え、波及効果を得ているといえるか。
その他	上記以外の特筆すべき点、アピールポイントとして示された内容について、評価すべきものはあるか。

容器包装3R推進環境大臣賞(小売店部門)

以下の項目ごとに評価し、それぞれの項目での評価の合計が高いものを優れた取組として環境大臣賞の対象とします。

先進性 ・独自性	小売店舗における容器包装廃棄物の3Rを推進する取組として、他の店舗による取組には見られない先進性や独自の工夫・アイデアがあるといえるか。
有効性	容器包装廃棄物の3Rを推進する取組として、容器包装の使用削減やリターナブル容器の利用拡大、リサイクル率の向上など3R上の効果があるといえるか。 加えて、本取組がCO2削減その他の環境保全上の効果があるといえるか。
継続性	継続性がある取組といえるか。また、取組の評価・改善が適切に行われているか。
波及性	容器包装廃棄物の3Rを推進する取組として、他の小売業者や製造事業者、消費者、NPO、地方公共団体等に広く影響を与え、取組が波及効果を得ているといえるか。
その他	上記以外の特筆すべき点、アピールポイントとして示された内容について、評価すべきものはあるか。

容器包装3R推進環境大臣賞(製品部門)

以下の項目ごとに評価し、それぞれの項目での評価の合計が高いものを優れた製品として環境大臣賞の対象とします。

先進性 ・独自性	容器包装廃棄物の3Rに配慮した製品として、軽量化・薄肉化、詰め替え方式、単一素材化、リサイクル容易設計等について、他の製品には見られない先進的な特徴や独自の機能等があるといえるか。						
有効性	<p>容器包装廃棄物の3Rに配慮した製品として、容器包装の重量削減や分別排出コストの低減、リサイクル率の向上など3R上の効果があるといえるか。</p> <p>【3Rごとの有効性を測る指標の例】</p> <table border="1" data-bbox="432 1028 1469 1391"> <tr> <td data-bbox="432 1028 868 1151">リデュース(軽量化・薄肉化、簡易包装化等)</td> <td data-bbox="868 1028 1469 1151">内容量当たり容器包装重量の削減量・削減率(従来製品と本製品の比較)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="432 1151 868 1274">リユース(詰め替え方式等)</td> <td data-bbox="868 1151 1469 1274">内容量当たり容器包装重量の削減量・削減率(本体と本製品の比較)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="432 1274 868 1391">リサイクル(分別容易化等)</td> <td data-bbox="868 1274 1469 1391">つぶし易さや洗い易さ・汚れの付着しにくさ等による分別排出コストの低減</td> </tr> </table> <p>加えて、本製品の製造・流通等においてCO2削減その他の環境保全上の効果があるといえるか。</p>	リデュース(軽量化・薄肉化、簡易包装化等)	内容量当たり容器包装重量の削減量・削減率(従来製品と本製品の比較)	リユース(詰め替え方式等)	内容量当たり容器包装重量の削減量・削減率(本体と本製品の比較)	リサイクル(分別容易化等)	つぶし易さや洗い易さ・汚れの付着しにくさ等による分別排出コストの低減
リデュース(軽量化・薄肉化、簡易包装化等)	内容量当たり容器包装重量の削減量・削減率(従来製品と本製品の比較)						
リユース(詰め替え方式等)	内容量当たり容器包装重量の削減量・削減率(本体と本製品の比較)						
リサイクル(分別容易化等)	つぶし易さや洗い易さ・汚れの付着しにくさ等による分別排出コストの低減						
経済性	原材料費や光熱水費の低減等、コスト削減につながる効果があるか。						
普及性	本製品が従来製品を代替するものとして、消費者への普及拡大が図られているか。						
その他	上記以外の特筆すべき点、アピールポイントとして示された内容について、評価すべきものはあるか。						